

ロタウイルスワクチン Q & A

Q1. 「ロタウイルス」とはなんですか？

ロタウイルスは乳幼児の急性重症胃腸炎の主な原因ウイルスとして知られています。ロタウイルスに感染すると2～4日の潜伏期間の後、水のような下痢や嘔吐、発熱、腹痛などが起こります。合併症として、けいれん、肝機能障害、急性腎不全、脳症、心筋炎などが起こることがあり、死に至る場合もあります。5歳までにほぼすべての子どもが感染するといわれており、特に初めて感染したときに症状が強く出ます。

Q2. 「ロタウイルスワクチン」の効果は？

すべてのロタウイルス胃腸炎の約80%予防し、重症のロタウイルス胃腸炎に限ると、その予防効果は約95%です。また、この予防効果はその後2～3年続きます。

Q3. 「ロタウイルスワクチンの副反応は？

主な副反応は、下痢、嘔吐、胃腸炎、発熱などでいずれも軽症です。特に注意が必要なのが、腸重積症(※1)です。ワクチンを接種しなくても起こる病気ですが、接種後1週間以内にわずかに増加するとの報告があります。腸重積症と思われる症状がひとつでもみられた場合はすぐに医療機関を受診しましょう。

※1：腸重積症：腸の一部が他の部分に入り込み、腸が閉鎖した状態です。症状は、激しく泣く、機嫌が悪かったり悪かったりを繰り返す、嘔吐、イチゴゼリー状の血便などです。

Q4. 「ロタウイルスワクチン」の接種間隔は？

ロタウイルスワクチンは2種類あります。

1価ワクチン(ロタリックス)は、出生6週0日後から初回接種が可能で、27日以上の間隔をおいて24週0日後までの間に2回接種します。1回に1.5mlを経口で接種します。

5価ワクチン(ロタテック)は、出生6週0日後から初回接種が可能で、27日以上の間隔をおいて32週0日後までの間に3回接種します。1回に2mlを経口で接種します。

	誕生	6週	8週	10週	14週	15週0日	20週	24週0日	28週	32週0日
1価ワクチン ロタリックス			1回目							
					2回目					
5価ワクチン ロタテック			1回目							
					2回目					
							3回目			

◎初回接種は、出生14週6日後まで(15週未満)に行うことが推奨されています。

◎初回接種が出生15週0日後を過ぎる場合は主治医にご相談ください。

接種時、接種後の注意事項

吐き戻しをさけるため、接種直前(30分以内)は授乳を避けましょう。

接種後はき戻した場合でも原則再接種の必要はありません。少量でも飲み込んでいれば、一定の効果があることや、ロタウイルスワクチンは複数回接種することになっており、一連の接種で効果が期待できること等から、吐き戻した場合でも1回とします。

接種後1～2週間はウイルスが便中に排泄されます。おむつ交換の後は手洗いをしましょう。